

- 4) 猪野照夫, 遠藤 聡, 野露浩正, 藤澤政紀: 上顎顎欠損範囲が無歯顎患者の咬合床の安定に及ぼす影響 - 有限要素法解析による検討 -, 第 29 回日本顎顔面補綴学会学術大会 愛知県名古屋市, 2012. 6
- 5) 佐藤雅介: 日中のクレンチングに対するバイオフィードバック訓練が夜間のブラキシズムに及ぼす影響, 第 17 回明海歯科医学会学術大会, 2012. 6
- 6) 野露浩正: 荷重下における支台築造歯の多点同時ひずみ解析, 第 17 回明海歯科医学会学術大会, 2012. 6
- 7) 渡邊 明, 佐藤雅介, 飯塚知明, 金村清孝, 田邊憲昌, 藤澤政紀: 咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練による日中のクレンチング抑制効果の持続性について, 第 25 回一般社団法人日本顎関節学会学術大会 札幌, 2012. 7
- 8) 佐藤雅介, 飯塚知明, 渡邊 明, 岩瀬直樹, 岡本和彦, 藤澤政紀: 日中のクレンチングに対するバイオフィードバック訓練が夜間のブラキシズムに及ぼす影響, 日本歯科心身医学会第 27 回学術大会 川越市, 2012. 9
- 9) 岩瀬直樹, 渡邊 明, 藤澤政紀, 飯塚知明, 金村清孝, 田邊憲昌, 石橋寛二: クレンチングに対する咀嚼筋 EMG バイオフィードバックトレーニング, 第 22 回日本歯科医学会総会 大阪市, 2012. 11
- 10) 川邊崇史, 野露浩正, 佐藤雅介, 日高達哉, 勅使河原大輔, 岩瀬直樹, 遠藤 聡, 廣川琢哉, 猪野照夫, 高柳育行, 藤澤政紀: 多点同時ひずみ解析による支台築造歯の破折様相, 社団法人日本補綴歯科学会東関東支部学術大会 千葉市, 2012. 11
- 11) 勅使河原大輔, 猪野照夫, 大塚英稔, 野露浩正, 渡邊 明, 飯塚知明, 川田 祐, 藤田崇史, 吉田有里, 河合美貴子, 藤澤政紀: 物性が異なるコア用レジンを用いた支台築造歯の有限要素解析, 社団法人日本補綴歯科学会東関東支部学術大会 千葉市, 2012. 11
- 12) 藤田崇史, 吉沢亮平, 廣川琢哉, 川田祐, 飯塚知明, 藤澤政紀: 二回鑄造法を応用したブリッジ装着により咬合違和感が改善した一症例, 平成 24 年度埼玉県歯科医学大会 埼玉県さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野, 2013. 3

E. その他の研究会、講演等

- 1) 藤澤政紀: やっかいなこと、咬合違和感そしてブラキシズムの対処法を考える, 新宿アメリカンフットボール OB 会主催学術研修会, 2012. 7
- 2) 藤澤政紀: 顎関節症に関連する最近のトピックスー咬合違和感そしてブラキシズムの対処法を考えるー, 宇都宮スタディグループ五一会学術講演会, 2012. 7
- 3) 藤澤政紀: 日常臨床で遭遇するやっかいなことー咬合違和感そしてブラキシ

- ズムの対処法を考えるー，さいたま市 与野歯科医師会学術講演会，2012.9
- 4) 藤澤政紀：可逆的補綴治療の勧め，横浜日本補綴歯科学会専門医研修セミナー，2013.1
 - 5) 藤澤政紀：ストレスの可視化に向けて～ストレスマネジメントの可能性～，東京都白山 東洋大学第3回生体医工学研究センターシンポジウム，2013.2

F. 研究助成金等の受入

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 藤澤政紀：日中の筋電図バイオフィードバックが夜間ブラキシズム抑制に及ぼす効果の多施設検証，日本学術振興会科学研究費補助金基盤(B)23390447 2011-2015
- 2) 遠藤 聡：顎顔面補綴装置製作に用いるシリコーン樹脂の光学特性，日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B) 24792104 2012-2013
- 3) 渡邊 明：ストレスレベルとの関連性からみたクレンチングコントロールに対するアプローチ，日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B) 24792103 2012-2013

3. 宮田研究奨励金(A)

- 1) 遠藤 聡：デジタルテクノロジーを用いた顔面エピテーゼの新しい製作方法，宮田研究奨励金 (A)

保存修復学分野

D. 学会発表

1. 国際学会

(1) 特別講演

- 1) 市村 葉：認定医講習会，日本歯科東洋医学会 第 30 回記念学術大会，福岡，2012. 10

(3) 一般演題

- 1) Yumi Ozawa, Tadashi Katayama：The effect of chromatic color backgrounds on color of composite resins, FDI Annual World Dental congress Hong Kong 2012, 2012. 8

2. 全国学会

(2) シンポジスト

- 1) 市村 葉：アンチエイジングのツボ療法，日本歯科東洋医学会 東海支部大会, 2012. 8
- 2) 市村 葉：レーザー等を応用したハリ療法，日本歯科東洋医学会 第 30 回記念学術大会，福岡，2012. 10

(3) 一般演題

- 1) 小澤有美，岩坂憲助，市村 葉，石原祥世，片山 直：有彩色上でのフロアブルコンポジットレジンの色について，日本歯科保存学会 第 136 回春季大会，沖縄，2012. 6
- 2) 小澤有美：有彩色が光重合型コンポジットレジンの色に与える影響についての基礎的研究，明海歯科医学会第 17 回学術大会，2012. 6
- 3) 小澤有美，市村 葉，石原祥世，片山 直：フロアブルコンポジットレジンにおける明度改善条件について，第 20 回日本歯科色彩学会，柏，2012. 7

歯内療法学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 申 基喆, 小林健二, 中村裕子, 小谷依子, 高橋哲哉, 小此木 雄, 牛込瑛子, 橋島弓子, 井出祐樹, 大山蓉子, 國島隼也, 高良芳樹, 武田典子: 歯内療法学実習書, リュウワ印刷, 川越, 1-34, 2012.11
- 2) 申 基喆, 小林健二: 歯内療法学専門用語集, 日本歯科保存学会 日本歯内療法学会編, 医歯薬出版, 東京, pp9-10, 2013.3

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 中村裕子, 井出祐樹, 小此木 雄, 小林健二, 小谷依子, 高橋哲哉, 申 基喆: 次亜塩素酸電解水による根管洗浄が 4-META/MMA-TBB レジンの象牙質接着に及ぼす影響, 日歯内療誌, 33, 168-174, 2012.9
- 2) Kotani Y, Kobayashi K, Takahashi T, Nakamura Y, Suzuki E, Ide Y and Shin K: Novel laser manipulator for use in root canal therapy, J Meikai Dent Med, 42, 7-12, 2013.2

3. 症例報告

- 1) Kazumasa Mori, Nozomi Tamura, Hiroyuki Ohnuki, Yuko Nakamura, Jun Shimada: Papillary cystadenocarcinoma in the upper lip: Report of a case with immunohistochemical aspects, Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 2012.8
- 2) Kobayashi K, Kotani Y, Takahashi T, Nakamura Y, Suzuki E, Ide Y and Shin K: Transient apical breakdown in subluxated maxillary incisor, J Meikai Dent Med, 42, 63-68, 2013.2

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 中村裕子: 電解機能水の歯髄および根尖周囲組織に対する傷害性, 明海歯科医学会第17回学術大会, 坂戸, 2012.6
- 2) 高橋哲哉, 小林健二, 牛込瑛子, 小谷依子, 中村裕子, 申 基喆: 薬液を応用した NiTi ファイル破折片の除去に関する研究 - 薬液への間欠的な浸漬が腐食に及ぼす影響 -, 日本歯科保存学会 2012 年春季学術大会 (第 136 回), 宜野湾, 2012.6

- 3) 井出祐樹, 中村裕子, 植村直己, 小林健二, 小谷依子, 高橋哲哉, 坂上 宏, 申 基喆 : 次亜塩素酸電解水の細胞傷害性とその作用機序の解析, 日本歯科保存学会 2012 年春季学術大会(第 136 回), 宜野湾, 2012. 6
- 4) 橋島弓子, 小谷依子, 小林健二, 中村裕子, 高橋哲哉, 井出祐樹, 武田典子, 申 基喆 : 3 根管を有する下顎小白歯の歯内療法, 日本歯科保存学会 2012 年秋季学術大会(第 137 回), 広島, 2012. 11
- 5) 小林健二, 高橋哲哉, 小谷依子, 中村裕子, 井出祐樹, 申 基喆 : 薬液を応用した NiTi ファイル破折片の除去に関する研究 -破断面性状が腐食に及ぼす影響-, 日本歯科保存学会 2012 年秋季学術大会(第 137 回), 広島, 2012. 11

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 高橋哲哉 : 根管内破折したニッケルチタンファイルを腐食させることで除去を容易にする方法の確立, 科学研究費補助金, 若手研究 (B), 2012. 4
- 2) 小谷依子 : 根管形成用レーザーマニピュレーターの開発, 科学研究費補助金, 若手研究 (B), 2012. 4

3. 宮田研究奨励金

- 1) 中村裕子 : 歯髄創傷治癒に及ぼす Enamel matrix derivative の影響, 2012 年度宮田研究奨励金【A】研究成果報告書, 2013. 3

オーラル・リハビリテーション学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Mizobe K, Kawabe Y, Amenomori H, Suzuki R, and Araki H : The influence of occlusion on wedge-shaped defects and alveolar bone loss , Jpn J Oral Diag/Oral Med. 25(2) :206-210, 2012, 2012. 6
- 2) 雨森洋貴, 川邊好弘, 生方真人, 溝部健一, 荒木久生 : コーンビームエックス線 CT 診断装置を使用した欠損部歯槽部の診断 : 上下顎第一大臼歯部の歯槽部高径と幅径について, 日本口腔インプラント学会誌第 25 巻第 4 号 40-47, 2012. 12

2. 総説

- 1) Osamu AMANO, Kenichi MIZOBE, Yasuhiko BANDO, Koji SAKIYAMA : Anatomy and histology of rodent and human major salivary glands. Acta of Histochem and Cytochem, 45, 241-250, 2012, 2012. 10
- 2) 松田 哲 : インプラントリムーバー M-HR 30/60 デンタルダイヤモンド社, 東京, 2012. 12

3. 症例報告

- 1) 竹下 玲(研究代表者), 安井利一(分担者), 岡本和彦(分担者), 高野安紀子(分担者) : 歯周病原性細菌の細胞内侵入に及ぼす口腔内連鎖球菌の影響, "日本学術振興会(文部科学省科学)研究費補助金基盤研究(C)", 2012. 4
- 2) 岡本和彦(研究代表者), 安井利一(分担者), 竹下 玲(分担者), 高野安紀子(分担者), 藤沢政紀(分担者) : 歯根膜細胞が産生する単球走化性因子 MCP-1 の歯科補綴学における臨床的意義"日本学術振興会(文部科学省科学)研究費補助金基盤研究(C)", 2012. 4
- 3) 安井利一(研究代表者), 竹下 玲(分担者), 岡本和彦(分担者), 高野安紀子(分担者) : 細胞内に侵入した歯周病原性細菌の病態形成機構とその侵入細菌の除去薬剤の検索", 日本学術振興会(文部科学省科学)研究費補助金基盤研究(C)", 2012. 4

C. その他の刊行物等

- 1) 松田 哲 : 臨床経験から得られたGCインプラントの勘所, GC社, 東京, 2013. 1
- 2) 松田 哲 : 審美領域でのインプラント補綴, 明海大学歯学部東京都同窓会, 東京, 2013. 1

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 竹下 玲, 広瀬公治, 高野安紀子, 岡本和彦, 松本 勝, 柴田えり子, 流石知佳, 上田知恵, 仲筋宣子, 下島孝裕, 大川周治, 安井利一: Porphyromonas gingivalis 線毛による単球前駆細胞様 M1 細胞のアポトーシスの阻害作用に関する情報伝達機構の解析, 61 回日本口腔衛生学会・総会 (横須賀市), 2012.5
- 2) 川邊好弘, 荒木久生: 広汎型侵襲性歯周炎に対して Full mouth disinfection を行った一症例, 55 回日本歯周病学会春季学術大会, 2012.5
- 3) 雨森洋貴, 荒木久生: 慢性歯周炎患者に対して歯周外科治療を行った一症例, 第 56 回日本歯周病学会春季学術大会, 2012.5
- 4) 石川 健, 荒木久生: 低位咬合に咬合再構成を行った一症例, 日本顎咬合学会第 30 回学術大会, 2012.6
- 5) 生方真人, 荒木久生: 下顎両側遊離端欠損に対しインプラント補綴を用いて咬合再構成を行った一症例, 日本顎咬合学会第 30 回学術大会, 2012.6
- 6) 田辺達彦, 松本篤樹, 鈴木玲爾, 荒木久生: ダイレクトボンディングによる前歯部修復, 日本顎咬合学会第 30 回学術大会, 2012.6
- 7) 島田成章, 松本篤樹, 鈴木玲爾, 荒木久生: 重度歯周炎による咀嚼障害を有する患者に対して咬合再構成を行った一症例, 本顎咬合学会第 30 回学術大会, 2012.6
- 8) 本木萌洋, 荒木久生: 歯槽堤増大術を応用した前歯部ブリッジ補綴, 顎咬合学会第 30 回学術大会, 2012.6
- 9) 松本篤樹, 鈴木玲爾, 荒木久生: コーンステレスコープデンチャーを用いて咬合再構成を行った一症例, 日本顎咬合学会第 30 回学術大会, 2012.6
- 10) 谷本博則, 荒木久生: インプラント周囲におけるティッシュマネージメント, 日本顎咬合学会第 30 回学術大会, 2012.6
- 11) 溝部健一: 種々の外科的侵襲を加えたラット顎下腺における Hsp27 の局在と変動, “明海歯科医学会第 17 回学術大会”, 2012.6
- 12) 天野 修, 溝部健一: 顎下腺の発生と再生における介在部導管の役割, “一熱ショックタンパク質 Hsp27 の局在と変動”, “歯科基礎医学会第 54 回学術大会・総会”, 2012.9
- 13) 溝部健一, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: 外科的刺激に対する対照側顎下腺における Hsp27 の発現と変動, “歯科基礎医学会第 54 回学術大会・総会”, 2012.9
- 14) 生方真人, 荒木久生, 溝部健一, 川邊好弘, 雨森洋貴: 明海大学 PDI 埼玉歯科診療所における新来患者動向 現在と 10 年前の比較, 第 22 回日本歯科医学会, 2012.11
- 15) 溝部健一, 天野 修: 種々の外科的処置を加えたラット顎下腺における Hsp27 の局在と変動, “日本唾液腺学会第 57 回学術大会・総会”, 2012.12

基礎物理学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 山田英彦, 石原真理子, 稲葉明美: 2012 年度総合理科実験リュウワ印刷, 埼玉, pp1-58, 2012.9

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 田島義文, 石井廣明, 山田英彦: 携帯型歯科用 X 線撮影装置による口外撮影法の有用性, 日本法歯科医学会第 6 回学術大会 東京, 2012.7
- 2) 根岸利一郎, 関口久美子, 高畑一夫, 山田英彦: ハクサイの開度と連なりらせん構成点の一様性, 形の科学会 第 75 回 形の科学シンポジウム, 新潟, 2012.6

病理学分野

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 草間 薫, 仙波伊知郎, 池田 通, 長谷川博雅, 高田 隆, 豊澤 悟, 進藤正信, 岡田康男, 前田初彦, 安彦善裕, 長塚 仁, 斎藤一郎: 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学 前田健康, 眞木吉信, 松田裕子編, 医歯薬出版, 2012.7

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Miyazaki Y, Inoue H, Kikuchi K, Ochiai K and Kusama K : Activation-induced cytidine deaminase mRNA expression in oral squamous cell carcinoma-derived cell lines is upregulated by inflammatory cytokines, J Oral Sci 54 (1), 71-75, 2012.4
- 2) Kikuchi K, Ito S, Inoue H, Gonzalez-Alva P, Miyazaki Y, Sakashita H, Yoshino A, Katayama Y, Terui T, Ide F and Kusama K : Immunohistochemical expression of podoplanin in so-called hard a-keratin-expressing tumors, including calcifying cystic odontogenic tumor, craniopharyngioma, and pilomatrixoma, J Oral Sci 54 (2), 165-175, 2012.6
- 3) Inoue H, Miyazaki Y, Kikuchi K, Yoshida N, Ide F, Ohmori Y, Tomomura A, Sakashita H and Kusama K : Podoplanin promotes cell migration via the EGF-Src-Cas pathway in oral squamous cell carcinoma cell lines, J Oral Sci 54 (3), 241-250, 2012.9
- 4) 宮崎裕司, 菊池建太郎, 井上ハルミ, 藤波正裕, 山内雅司, 草間 薫: 口腔の発癌・癌進展における遺伝子編集酵素 AID および炎症性サイトカインの関与, 消化器と免疫 49, 89-91, 2013.3

2. 総説

- 1) 草間 薫: 歯科医師が知っておくべき“がん”の知識——歯周病と“がん”との関わりについての最新情報, 日本歯科評論 (The Nippon Dental Review) 72 (8), 115-123, 2012.8
- 2) 草間 薫: 口腔癌の発生・進展について, 口腔組織培養学会誌 21 (2), 1-9, 2012.10
- 3) 井出文雄, 坂下英明, 草間 薫: 歯原性腫瘍および嚢胞の歴史的回顧-本邦における初期報告例の分析-, 小児口腔外科 22 (2), 113-119, 2012.12

3. 症例報告

- 1) Kikuchi K, Inoue H, Miyazaki Y, Ide F, Matsuki E, Shigematsu H, Okamoto S, Sakashita H and Kusama K : Adult sporadic Burkitt lymphoma of the oral cavity: a case report and literature review, J Oral Maxillofac Surg, 70 (12), 2936-2943, 2012.4
- 2) Ohyama Y, Shigematsu H, Kawamoto Y, Takizawa S, Kikuchi K, Kusama K and Sakashita H : A case of deep lobe parotid lipoma, J Oral Maxillofac Surg, Med, and Pathol, 24 (2), 132-135, 2012.5
- 3) Kikuchi K, Fukunaga S, Inoue H, Miyazaki Y, Kojima M, Ide F and Kusama K : A case of age-related Epstein-Barr Virus (EBV)-associated B cell lymphoproliferative disorder, so-called Polymorphous subtype, of the mandible, with a review of the literature, Head Neck Pathol, 7 (2), 178-187, 2012.8
- 4) 田村暢章, 森 一将, 菊池建太郎, 別府祐次, 竹島 浩, 武田順天, 原口茂樹, 江口知子, 須藤 純, 田中敏史, 草間 薫, 嶋田 淳 : 上顎洞内に進展した角化嚢胞性歯原性腫瘍の 1 例, 明海歯科医学 42 (1), 69-73, 2013.2

C. その他の刊行物等

- 1) 草間 薫 : 慢性炎症・感染症のがん化に関与する遺伝子編集酵素 AID, Medical Tribune, 2012.12
- 2) 草間 薫 : 慢性炎症・感染症のがん化に関与する遺伝子編集酵素 AID, Dental Tribune-The world' s dental newspaper-, 2012.12

D. 学会発表

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 田村暢章, 森 一将, 菊池建太郎, 金川修一郎, 竹島 浩, 草間 薫, 嶋田 淳 : 高齢者の下顎骨に発生した Ossifying fibroma の 1 例, 66 回日本口腔外科学会学術集会, 広島, 2012.5
- 2) 宮崎裕司, 菊池建太郎, 井上ハルミ, 藤波正裕, 山内雅司, 草間 薫 : 口腔の発癌・癌進展における遺伝子編集酵素 AID および炎症性サイトカインの関与, 第 49 回日本消化器免疫学会, 鹿児島, 2012.7
- 3) 宮崎裕司 : 変異型癌抑制遺伝子による癌進展メカニズムの分子生物学的解析, 明海歯科医学会 第 17 回学術大会, 2012.6
- 4) 菊池建太郎, 福永秀一, 井上ハルミ, 宮崎裕司, 小島 勝, 井出文雄, 草間 薫 : 下顎骨に生じた加齢性 EBV 関連 B 細胞リンパ増殖疾患の 1 例, 第 23 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 東京, 2012.8

- 5) 宮崎裕司, 井上ハルミ, 菊池建太郎, 草間 薫 : 遺伝子編集酵素 AID が口腔癌進展に及ぼす影響, 第 54 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 福島, 2012.9
- 6) 黒坂正生, 城代英俊, 菊池建太郎, 草間 薫, 白川正順, 小笠原健文 : Sclerosing polycystic adenosia と考えられた頬粘膜嚢胞状病変の 1 例, 57 回 日本口腔外科学会総会・学術大会, 横浜, 2012.10
- 7) 森 一将, 菊池建太郎, 田村 希, 鈴木宗夫, 小貫弘之, 草間 薫, 嶋田 淳 : 口腔内病変により判明したアミロイドーシスを伴う多発性骨髄腫の 1 例, 57 回 日本口腔外科学会総会・学術大会, 横浜, 2012.10
- 8) 田村暢章, 松山博康, 森 一将, 菊池建太郎, 谷口展子, 竹島 浩, 草間 薫, 嶋田 淳 : 頬粘膜に発生した多形腺腫の 1 例, 57 回 日本口腔外科学会総会・学術大会, 横浜, 2012.10

E. その他の研究会、講演等

- 1) 草間 薫 : 歯科医師が知っておくべき「口腔がん」の知識, Continuing Dental Education, Follow up Program, 2012.9
- 2) 草間 薫 : 歯科医師が知っておくべき「口腔がん」の知識 口腔がん検診, 実習付きベシック講習会, 2013.1

薬理学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) Sakagami H and Matsuta T : Biological activity of cacao husk and mass lignin carbohydrate complexes, *In: Chocolate in Health and Nutrition* (ed: Watson RR, Preedy VR and Zibadi A, Springer) pp247-262, ISBN 978-1-61779-802-3, 2012.9
- 2) Sakagami H, Matsuta T, Yasui T, Oguchi K, Kitajima M, Sugiura T, Oizumi T and Oizumi T : Functional evaluation of Sasa Makino et Shibata leaf extract as group III OTC drug, *In: Alternative Medicine* (ed. Sakagami H), pp171-200, InTech ISBN 980-953-307-811-8, 2012.12
- 3) 坂上 宏 : リグニン配糖体の構造と機能性, 書籍『ポリフェノール : 薬用植物および食品の機能性成分』(監修 : 波多野力)、pp100-116、ISBN978-4-7813-0672-8、シーエムシー出版, 2012.10

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Bilginer S, Gul HI, Mete E, Das U, Sakagami H, Umemura N and Dimmock JR : 1-(3-Aminomethyl-4-hydroxyphenyl)-3-pyridinyl-2-propen-1-ones: A novel group of tumour-selective cytotoxins (GENZ-2012-0153), *J Enzyme Inhibition Med Chem*, 2012.7
- 2) Tamura N, Hirano K, Kishino K, Hashimoto K, Amano O, Shimada J and Sakagami H: Analysis of type of cell death induced by topoisomerase inhibitor (SN-38) in human oral squamous cell carcinoma cell line, *Anticancer Res* 32(11): 4823-4832, 2012.11
- 3) Adachi K, Fujita S, Yoshida A, Sakagami H, Koshikawa N, Kobayashi M : Anatomical and electrophysiological mechanisms for asymmetrical excitatory propagation in the rat insular cortex: *in vivo* optical imaging and whole-cell patch-clamp studies, *J Comp Neurol* 2012 Nov. 1. Doi: 10.1002/cne/23246. [Epub ahead of print], 2012.11
- 4) Nanbu T, Shimada J, Kobayashi M, Hirano K, Koh T, Machino M, Ohno H, Yamamoto M and Sakagami H : Anti-UV activity of lignin-carbohydrate complex and related compounds, *In Vivo* 27, 133-140, 2013.1
- 5) Ueki J, Sakagami H and Wakabayashi H : Anti-UV activity of newly synthesized water-soluble azulenes, *In Vivo* 27: 119-126, 2013.1
- 6) Kato T, Horie N, Matsuta T, Umemura N, Shimoyama T, Kaneko T, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Kusama K and Sakagami H : Anti-UV/HIV activity of Kampo medicines and constituent plant extracts, *In Vivo* 26 (6): 1007-1013, 2012.11

- 7) Sakagami H, Matsuta T, Satoh K, Ohtsuki S, Shimada C, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Morita Y, Ohkubo A, Tsuda T, Sunaga K, Maki J, Sugiura T, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Biological activity of SE-10, a granulated powder of *Sasa senanensis* Rehder leaf extract, *In Vivo* 26: 411-418, 2012.4
- 8) Sakagami H, Amano S, Yasui T, Satoh K, Shioda S, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Watanabe K, Sugiura T, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Biological interaction between *Sasa senanensis* Rehder leaf extract and toothpaste ingredients, *In Vivo* 27: 275-284, 2013.3
- 9) Koh T, Murakami Y, Tanaka S, Machino M, Onuma H, Kaneko M, Sugimoto M, Soga T, Tomita M and Sakagami H : Changes of metabolic profiles in an oral squamous cell carcinoma cell line induced by eugenol, *In Vivo* 27: 233-244, 2013.3
- 10) Kobayashi K, Ohno S, Uchida S, Amano O, Sakagami H and Nagasaka H : Cytotoxicity and type of cell death induced by local anesthetics against human oral normal and tumor cells, *Anticancer Res* 32 (7): 2925-2934, 2012.7
- 11) Ohno S, Kobayashi K, Uchida S, Amano O, Sakagami H and Nagasaka H : Cytotoxicity and type of cell death induced by midazolam in human oral normal and tumor cells, *Anticancer Res* 32 (11): 4737-4748, 2012.11
- 12) Koh T, Machino M, Murakami Y, Umemura N and Sakagami H : Cytotoxicity of dental compounds against human oral squamous cell carcinoma and normal oral cells, *In Vivo* 27: 85-96, 2013.1
- 13) Mena AA, Sakagami H, Matsuta T, Adachi K, Otsuki S, Nakajima H, Koh T, Machino M, Ogihara T, Watanabe K, Watanabe S, Salgado AV and Montiel NM : Effect of three fluoride compounds on the growth of oral normal and tumor cells, *In Vivo* 26: 657-664, 2012.7
- 14) Suzuki R, Tanaka T, Yamamoto M, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : In search of new biological activities of isolates from *Odontoglossum* Harvengtense 'Tutu' , *In Vivo* 26 (6): 993-999, 2012.11
- 15) Yao D, Lavigne GJ, Lee JC, Adachi K, Sessle BJ : Jaw-opening reflex and corticobulbar motor excitability changes during quiet sleep in non-human primates, *Sleep* 36: 269-280, 2013.2
- 16) Kubo S, Kuroda M, Matsuo Y, Masatani D, Sakagami H and Mimaki Y : New cardenolides from the seeds of *Adonis aestivalis*, *Chem Phar Bull* 60 (10): 1275-1282, 2012.10
- 17) Masuda Y, Suzuki R, Sakagami H, Umemura N and Shirataki Y : Novel cytotoxic phenanthrenequinones from *Odontioda* Marie Noel 'Velano' , *Chem Pharm Bull* 60 (9) :

1216-1219, 2012. 9

- 18) Matsuta T, Sakagami H, Tanaka S, Machino M, Tomomura M, Tomomura A, Yasui T, Itoh K, Sugiura T, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Pilot clinical study of *Sasa senanensis* Rehder leaf extract treatment on lichenoid dysplasia, *In Vivo* 26 (6) : 957-962, 2012. 11
- 19) Tanaka S, Maehara K, Kaneshima A, Machino M, Onuma H, Kaneko M, Sakagami H, Sugimoto M, Soga T and Tomita M : Pilot study of changes in salivary metabolic profiles induced by template therapy, *In Vivo* 26(6) : 1015-1020, 2012. 11
- 20) Yamazaki T, Kobayashi M, Hirano K, Onuki H, Shimada J, Yamazaki A, Hibino Y, Nakajima H, Yokote Y, Takemoto S, Oda Y and Sakagami H : Protection of copper-induced cytotoxicity by inclusion of gold, *In Vivo* 26, 651-656, 2012. 7
- 21) Koh T, Murakami Y, Tanaka S, Machino M and Sakagami H : Re-evaluation of anti-inflammatory potential of eugenol in IL-1 β -stimulated gingival fibroblast and pulp cells, *In Vivo* 27: 269-274, 2013. 3
- 22) Tomomura M, Hasegawa H, Suda N, Sakagami H and Tomomura A : Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, inhibits receptor activator of NF- κ B Ligand (RANKL)-mediated Ca²⁺ signaling and actin ring formation in mature osteoclasts via suppression of the Src signaling pathway, *J Biol Chem* 287: 17963-17974, 2012. 5
- 23) Matsuta T, Sakagami H, Sugiura T, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Structural characterization of anti-UV components from *Sasa senanensis* Rehder extract, *In Vivo* 27: 77-84, 2013. 1
- 24) Horii H, Suzuki R, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : New biological activities of rhinacanthins from the root of *Rhinacanthus nasutus*, *Anticancer Res* 33: 453-460, 2013. 2
- 25) 牧 純、宇都宮良子、和田彩加、廣瀬恭子、秋山伸二、難波弘行、関谷洋志、玉井栄治、坂上 宏 : 訪問滞在地における健康の管理・増進および保健医療文化誌に関する基礎研究—別府市（大分県）に関する旅医学・旅行薬学の構築を試みて、*松山大学論集*、第 24 巻 第 1 号、171-217, 2012. 4

2. 総説

- 1) Klionski DJ, Sakagami H *et al.* : Guidelines for the use and interpretation of assays for monitoring autophagy, *Autophagy* 8(4) : 445-544, 2012. 4

C. その他の刊行物

- 1) 坂上 宏、松田友彦、田中庄二、町野 守、安井利一、伊藤一芳、北嶋まどか、杉浦智子、大泉浩史、大泉高明：クマ笹葉エキス由来製品の開発、機能性評価及び口腔疾患への適応, *New Food Industry*: 54: (6): 11-26, 2012, 2012.6
- 2) 牧 純、関谷洋志、玉井栄治、坂上 宏：人体への寄生虫感染を警戒すべき食材 (5) - 横川吸虫類 (*Metagonimus* spp.) の感染源となりうるもの (ノート), *New Food Industry* 54 (4): 39-45, 2012.4
- 3) 牧 純、関谷洋志、玉井栄治、坂上 宏：人体への寄生虫感染を警戒する食材(8) - 棘口吸虫類の感染源となりうるもの一, *New Food Industry* 54 (9), 39-42, 2012.9
- 4) 牧 純、関谷洋志、渡辺真衣、玉井栄治、坂上 宏：人体への寄生虫感染を警戒すべき食材 (6) - 剛棘顎口虫の感染源となりうるもの (ノート), *New Food Industry* 54 (5): 25-28, 2012.5
- 5) 牧 純、関谷洋志、渡辺真衣、玉井栄治、坂上 宏：人体への寄生虫感染を警戒すべき食材 (7) - 無鉤条虫の感染源となりうるもの一, *New Food Industry* 54 (7): 45-48, 2012, 2012.7

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Sakagami H, Matsuta T, Tanaka S, Machino M, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T: Application of *Sasa senanensis* Rehder leaf extract on oral diseases, 90th General Session and Exhibition of the IADR, Iguacu Falls, Brazil, 2012.6
- 2) Ishihara M and Sakagami H: Designing of new cytotoxic tetrahydroisoquinolines against oral squamous cell carcinoma, 90th General Session and Exhibition of the IADR, Iguacu Falls, Brazil, 2012.6
- 3) Mena Acra A, Visoso A, Montiel NM, Sakagami H, Matsuta T, Adachi K, Nakajima H, Ogihara T, Watanabe K and Watanabe S: Efecto de compuestos fluorados en la inhibicion celular normal y tumral, XXIV Congreso Nacional Internacional de Posgrado e Investigacion en Odontologia, Cancun, Mexico, 2012.6
- 4) Mena Acra A, Visoso A, Montiel NM, Sakagami H, Matsuta T, Adachi K, Nakajima H, Ogihara T, Watanabe K and Watanabe S: Effects of fluoride compounds on normal oral and OSCC cells, 90th General Session and Exhibition of the IADR, Iguacu Falls, Brazil, 2012.6
- 5) Uesawa Y, Kawase M, Ishihara M and Sakagami H: Quantitative structure-activity

relationship analysis for tumor-specificity of tetrahydroisoquinoline derivatives.
17th World Congress on Advances in Oncology and 15th International Symposium on
Molecular Medicine 11-13 October, 2012, Creta Maris, Hersonissos, Crete, Greece,
2012. 10

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 梅村直己, 南部久美, 嶋田 淳, 坂上 宏 : Gefitinib と SN-38 の併用化学療法によ頭頸部扁平上皮癌 EGFR 発現の減弱, 第 86 回日本薬理学会年会, 博多, 2013. 3
- 2) 友村美根子, 鈴木龍一郎, 鈴木里奈, 二瓶春菜, 白瀧義明, 坂上 宏, 友村明人 : Suppressive effects of rhinacanthin C on osteoclast differentiation *in vitro*, 第 85 回日本生化学会大会, 福岡, 2012. 12
- 3) 田島雅道, 坂上 宏 : PTH enhances the osteoblast damage induced by zoledronate, 第 86 回日本薬理学会年会, 福岡, 2013. 3
- 4) 梅村直己, 坂上 宏 : TLR3 作動薬は頭頸部扁平上皮癌転移巣の癌細胞をアポトーシスに誘導する, 第 54 回歯科基礎医学会, 福島, 2012. 9
- 5) 松山博康, 田草川 徹, 田島雅道, 大原正太郎, 荻野未来, 園川拓哉, 嶋田 淳 : Zoledronate による顎骨壊死患者の 血中 PTH 測定の意義について, 第 194 回日本口腔外科学会関東支部学術集会, 東京, 2012. 12
- 6) 田草川 徹, 松山博康, 田島雅道, 坂上 宏, 嶋田 淳 : Zoledronate の骨芽細胞障害作用に対する 1-34PTH 併用の影響, 第 57 回日本口腔外科学会学術大会, 横浜, 2012. 10
- 7) 佐野哲文, 嶋田 淳, 斎藤 潤, 東風幹子, 杉本昌弘, 富田 勝 : アントラサイクリン系抗腫瘍薬によるベンズアルデヒド誘導体のヒト口腔扁平上皮癌細胞に対する傷害性の増強, 第 86 回日本薬理学会年会, 福岡, 2013. 3
- 8) 坂上 宏, 松田友彦, 友村美根子, 友村明人, 田中庄二, 町野 守, 安井利一, 北島まどか, 大泉浩史, 大泉高明 : クマ笹抽出液 (ササヘルス) の口腔疾患治療効果の可能性, 第 54 回歯科基礎医学会, 福島, 2012. 9
- 9) 松田友彦, 坂上 宏, 北島まどか, 大泉浩史, 大泉高明 : クマ笹抽出液 (ササヘルス、SE) の紫外線防御および抗酸化成分の構造解析, 第 54 回歯科基礎医学会, 福島, 2012. 9
- 10) 若林英嗣, 植木淳一, 坂上 宏 : トリハロアセチルアズレン類の合成とその薬理活性, 第 93 日本化学会春季年会, 滋賀, 2013. 3
- 11) 安達一典, 小林真之, 川崎俊之, 尾上浩隆, 坂上 宏, 越川憲明 : パーキンソン病モデルサル の咀嚼運動解析, 第 126 回日本薬理学会関東部会, 東京, 2012. 7
- 12) 石原真理子, 植沢芳広, 坂上 宏 : ヒト口腔扁平上皮癌細胞に傷害活性を有する新規イソ

- キノリン誘導体のデザイン (その2), 第86回日本薬理学会年会, 福岡, 2013.3
- 13) 山本未来, 田中智大, 鈴木龍一郎, 白瀧義明, 坂上 宏, 友村美根子, 友村明人, 佐藤和恵: ラン科植物 *Odontoglossum Harvengtense* ‘Tutu’ バルブ含有成分の生理活性について, 第59回日本生薬学会, 千葉, 2012.9
 - 14) 南部俊之, 嶋田 淳, 坂上 宏: リグニン配糖体によるアンチエイジング効果の検索—紫外線防護効果, 第54回歯科基礎医学会, 福島, 2012.9
 - 15) 西山明良, 松田友彦, 日野峻輔, 堀江憲夫, 下山哲夫, 坂上 宏: 加齢に伴う唾液グリシン濃度の上昇の生理学的意義: グリシン産生細胞の探索と機能に及ぼす影響, 第22回日本歯科医学会総会, 大阪, 2012.11
 - 16) 加藤崇雄, 日野俊輔, 堀江憲夫, 松田友彦, 梅村直己, 金子 忠良, 下山 哲夫, 草間 薫, 坂上 宏: 漢方薬, 漢方成分及びグリチルリチンの紫外線に対する細胞保護作用, 第54回歯科基礎医学会, 福島, 2012.9
 - 17) 植沢芳広, 坂上 宏, 加賀谷肇, 大野裕和, 山本正次: 甘草由来フラボイドの細胞毒性および腫瘍選択性に対する半経験的分子軌道法を用いた QSAR 解析, 第86回日本薬理学会年会, 福岡, 2013.3
 - 18) 田中庄二, 秋田紗世子, 町野 守, 坂上 宏, 杉本昌弘, 曾我朋義, 富田 勝: 歯周病患者における唾液と歯肉滲出液中の代謝プロファイル, 第54回歯科基礎医学会, 福島, 2012.9
 - 19) 坂上 宏, 佐藤和恵, 天野 滋, 安井利一, 金本大成, 寺久保繁美, 中島秀喜, 北嶋まどか, 杉浦智子, 渡邊康一, 大泉浩史, 大泉高明: 歯磨剤開発を目指したクマザサ葉アルカリ抽出液 (ササヘルス®), 抗菌薬, 笹炭との併用効果の検討, 第86回日本薬理学会年会, 福岡, 2013.3
 - 20) 井出祐樹, 中村裕子, 梅村直己, 小林健二, 小谷依子, 高橋哲哉, 坂上 宏, 申 基喆: 次亜塩素酸電解水の細胞傷害性とその作用機序の解析, 第136回日本歯科保存学会, 宜野湾市, 沖縄, 2012.6
 - 21) 若林 英嗣, 植木 淳一, 坂上 宏: 水溶性アズレン類の合成とその薬理活性, 第93日本化学会春季年会, 滋賀, 2013.3
 - 22) 安達 一典, 吉田 篤, 坂上 宏, 越川 憲明, 小林 真之: 島皮質錐体細胞の電気生理学的ならびに形態学的特性の解析, 第54回歯科基礎医学会, 福島, 2012.9
 - 23) 鈴木里奈, 二瓶春奈, 鈴木龍一郎, 白瀧義明, 友村美根子, 友村明人, 坂上 宏: 白鶴靈芝 *Rhinacanthus nasutus* の破骨細胞分化抑制について, 第59回日本生薬学会, 千葉, 2012.9
 - 24) 鈴木龍一郎, 鈴木里奈, 樽井雄太, 梅村直己, 坂上 宏, 白瀧義明: 白鶴靈芝由来新規 pyrrolidinone の構造と生物活性, 薬学会第133年会, 横浜, 2013.3
 - 25) 堀江憲夫, 安達一典, 長尾隆英, 松田友彦, 加藤崇雄, 日野峻輔, 下山哲夫, 金子忠良,

草間 薫、坂上 宏：立効散成分の血中薬物動態と鎮痛効果の検討，第 54 回歯科基礎医学会，福島，2012.9

E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂上 宏：ササヘルスの新規薬理作用，緑健会関西地区研究会，大阪 2011.9

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 波多野力（代表），坂上 宏（分担）：機能性食品中の腫瘍細胞への作用物質としてのポリフェノールの研究，基盤研究 C，2012
- 2) 梅村直己：Toll 様受容体作動薬の扁平上皮癌への治療応用の検討，若手研究 B，2012
- 3) 片山直（代表），坂上 宏（分担），梅村直己（分担）：ヒト歯髄幹細胞を用いた硬組織再生の試み，基盤研究 C，2012

2. その他公的機関からの助成金・宮田奨励金（A）

- 1) 安達一典：睡眠時ブラキシズム発現に関わる神経機構の解析，2012

総合口腔診断学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Murakami Y, Kawata A, Seki Y, Koh T, Yuhara K, Maruyama T, Machino M, Ito S, Kadoma Y and Fujisawa S : Comparative inhibitory effects of magnolol, honokiol, eugenol and bis-eugenol on cyclooxygenase-2 expression and nuclear factor kappa B activation in RAW264.7 macrophage-like cells stimulated with fimbriae of *Porphyromonas gingivalis*. In Vivo. 26, 941-950, 2012.
- 2) Koh T, Machino M, Murakami Y, Umemura N and Sakagami H: Cytotoxicity of dental compounds towards human oral squamous cell carcinoma and normal oral cells. In Vivo. 27, 85-96, 2013.
- 3) Koh T, Murakami Y, Tanaka S, Machino M, Onuma H, Kaneko M, Sugimoto M, Soga T, Tomita M and Sakagami H : Changes of metabolic profiles in an oral squamous cell carcinoma cell line induced by eugenol. In Vivo. 27, 233-244, 2013.
- 4) Koh T, Murakami Y, Tanaka S, Machino M and Sakagami H : Re-evaluation of anti-inflammatory potential of eugenol in IL-1 β -stimulated gingival fibroblast and pulp cells. In Vivo. 27, 269-274, 2013.
- 5) 坂上 宏, 松田友彦, 田中庄二, 町野 守, 安井利一, 伊藤一芳, 北嶋まどか, 杉浦智子, 大泉浩史, 大泉高明 : クマ笹葉エキス由来製品の開発、機能性評価及び口腔疾患への適応. New Food Industry. 54, 11-26, 2012年.
- 6) Tanaka S, Taga H, Maehara K, Kaneshima A, Machino M, Onuma H, Kaneko M, Sakagami H, Sugimoto M, Soga T and Tomita M : Pilot study of changes in salivary metabolic profiles induced by template therapy. In Vivo. 26, 1015-1020, 2012.
- 7) Matsuta T, Sakagami H, Tanaka S, Machino M, Tomomura M, Tomomura A, Yasui T, Itoh K, Sugiura T, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Pilot clinical study of *Sasa senanensis* Rehder leaf extract treatment on lichenoid dysplasia, In Vivo. 26, 957-962. 2012.
- 8) Okada N, Muraoka E, Fujisawa S and Machino M : Effects of curcumin and capsaicin irradiated with visible light on murine oral mucosa. In Vivo. 26, 759-764, 2012.

2. 総説

- 1) Murakami Y, Machino M and Fujisawa S : *Porphyromonas gingivalis* fimbria-induced expression of inflammatory cytokines and cyclooxygenase-2 in mouse macrophages and its inhibition by the bioactive compounds fibronectin and melatonin. ISRN Dent. 2012;2012:350859. Epub 2012 Apr 1, 2012.

C. その他の刊行物等

- 1) 田中庄二：診断のツールとしての唾液の利用：アポロニア2 1 口腔と全身の調和を保つ唾液と疾患のインターフェイス. p80-83, 日本歯科新聞社, 2012年11月.

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Sakagami H, Matsuta T, Tanaka S, Machino M, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Application of *Sasa senanensis Rehder* leaf extract to oral diseases. 90th General Session & Exhibition of the IADR, Iguacu Falls, Brazil, 2012年6月.

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 田中庄二：メタボローム解析を用いた老化および歯周病マーカーの検索, 第25回日本口腔診断学会・第22回日本口腔内科学会. 東京, 2012年9月.

(3) 一般演題

- 1) 村上幸生：フェノール関連化合物による *Porphyromonas gingivalis* 刺激転写因子活性化の調節作用を探る. 第17回明海歯科医学会, 坂戸, 2012年6月.
- 2) 中島 丘, 村上幸生, 山本真樹, 磯部博行, 岡田春夫, 長坂 浩, 町野 守：アンケートからみた地域歯科医師会会員・スタッフと研修歯科医の「医療安全」に係る意識の相違. 第25回日本口腔診断学会・第22回日本口腔内科学会, 東京, 2012年9月.
- 3) 前川まゆき, 荻原孝子, 大井優一, 関 勇哉, 中江啓昭, 高 泰浩, 健石 雄, 浅野 愛, 田村靖子, 秋田紗世子, 高松紗耶子, 保科修平, 湯原健司, 丸山剛央, 岡田典久, 田中庄二, 村上幸生, 町野 守：明海大学病院初診科における過去2年の患

者動向調査. 第 25 回日本口腔診断学会・第 22 回日本口腔内科学会, 東京, 2012 年 9 月.

- 4) 川田朗史, 高松紗耶子, 二ノ宮良文, 村上幸生, 田中庄二, 岩田雄一, 倉林利明, 町野 守: 秩父市健康祭りにおける口腔癌検診の実施概要報告. 第 25 回日本口腔診断学会・第 22 回日本口腔内科学会, 東京, 2012 年 9 月.
- 5) 瀬田 誠, 町野 守: 根尖病巣を伴った歯牙の再植の 1 例. 第 25 回日本口腔診断学会・第 22 回日本口腔内科学会, 東京, 2012 年 9 月.
- 6) 田村靖子, 高松紗耶子, 村上幸生, 町野 守: 周辺性エナメル上皮腫の 1 例. 第 57 回日本口腔外科学会, 横浜, 2012 年 10 月.
- 7) 坂上 宏, 松田友彦, 友村美根子, 友村明人, 田中庄二, 町野 守, 安井利一, 北嶋まどか, 大泉浩史, 大泉高明: "クマ笹抽出液 (ササヘルス) の口腔疾患治療効果の可能性". 第 54 回歯科基礎医学会, 郡山, 2012 年 9 月.
- 8) 田中庄二, 秋田紗世子, 町野 守, 坂上 宏, 杉本昌弘, 曾我朋義, 富田 勝: 歯周病患者における唾液と歯肉溝滲出液中の代謝プロファイル. 第 54 回歯科基礎医学会, 郡山, 2012 年 9 月.
- 9) 新居智恵: Phenol 関連二量体化合物による LPS 刺激 COX-2 発現の調節作用. 第 19 回明海歯科医学会, 坂戸, 2012 年 12 月.

E. その他の研究会、講演等

- 1) 町野 守: 口腔癌の早期発見と口腔癌にならないために. 石心会健康塾, 狭山, 2012 年 11 月.
- 2) 町野 守: 口腔癌の早期発見・口腔粘膜疾患について. 愛媛県同窓会学術講演会, 松山, 2013 年 1 月.

F. 研究助成金等の受入れ

1. 日本学術振興会科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金

- 1) 村上幸生: 基盤研究 (C), 酸化還元感受性転写因子の抗酸化性フェノール関連化合物による調節作用を探る. 2012 年.
- 2) 田中庄二: 基盤研究 (C), 唾液中の老化及び歯周病マーカーの検索と実用化. 2012 年.

3. 宮田研究奨励金等の受入

- 1) 村上幸生: 宮田研究奨励金 (A), *Porphyromonas gingivalis* 菌体成分刺激による転写因子活性化に及ぼす抗酸化性フェノール関連化合物の制御機構を探る. 2012 年.

歯科放射線学分野

A.著書・訳本

1.著書

- 1) 奥村泰彦, 高橋伸年, 井上信行, 小澤智宣, 小泉伸秀, 大高祐聖, 流石麻由, 井澤真希, 瀬寄雄介, 鈴木 優: 2012 年度 歯科放射線学実習書, p.1-50 (共書 リュウワ印刷 埼玉), 2012.9

B.学術論文

1.原著

- 1) 小宅麗来, 井澤真希, 流石麻由, 木村直人, 小泉伸秀, 大高祐聖, 佐藤祐介, 小澤智宣, 高橋伸年, 奥村泰彦: 下顎窩の成長発育に関する CT 像解析 - ヒト乾燥頭骸骨による検討 -, 明海歯科医学, 41 巻 2 号, P87-104, 2012.9
- 2) 印南 永, 小澤智宣, 篠原勇輝, 大高祐聖, 鈴木 優, 瀬寄雄介, 高橋伸年, 奥村泰彦: 顎関節コイル使用時の低磁場 MRI における物理的特性と位置依存性, 歯科放射線, 52 巻 3 号, P35-43, 2012.12
- 3) 山秋 史, 小澤智宣, 井澤真希, 鈴木 優, 瀬寄雄介, 佐藤祐介, 木村直人, 奥村泰彦: 顎関節診断装置の開発に関する研究, 明海歯科医学, 42 巻 1 号, P13-25, 2013.2
- 4) 篠原勇輝, 小澤智宣, 井澤真希, 鈴木 優, 瀬寄雄介, 佐藤祐介, 木村直人, 奥村泰彦: 下顎骨骨梁構造の画像形成に関する解析, 明海歯科医学, 42 巻 1 号, P33-41, 2013.2
- 5) 小泉伸秀, 小澤智宣, 大高祐聖, 鈴木 優, 瀬寄雄介, 高橋伸年, 奥村泰彦: CCD センサの粒状性に関する研究, 明海歯科医学, 42 巻 1 号, P42-51, 2013.2

D.学会発表

1.国際学会

(3)一般演題

- 1) Izawa M, Suzuki Y and Sezaki Y: CT image analysis of growth and development around the mandibular fossa, 88th European Orthodontic Society (Santiago, Spain), 2012.6
- 2) Ozawa T, Sasuga M and Okumura Y: CT image analysis of growth around the articular tubercle and the articular posterior tubercle, 88th European Orthodontic Society (Santiago, Spain), 2012.6
- 3) Takahashi N, Ozawa T, Kimura N, Koizumi N, Inoue N and Okumura Y: Evaluation of students X-ray film trace training using tablet PC, 9th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology (Xi'an, China), 2012.9

2.全国学会

(3)一般演題

- 1) 小泉伸秀, 井澤真希, 鈴木 優, 流石麻由, 小澤智宣, 高橋伸年, 奥村泰彦: CCD センサの粒状性に関する研究, 日本歯科放射線学会第 53 回学術大会(岩手), 2012.6
- 2) 井澤真希, 原田康雄, 茨木秀文, 流石麻由, 小澤智宣, 高橋伸年, 奥村泰彦: X 線フィルムによる口腔内撮影のローカル診断参考レベル, 日本歯科放射線学会第 53 回学術大会(岩手), 2012.6
- 3) 井澤真希, 原田康雄, 鈴木 優, 小泉伸秀, 井上信行, 高橋伸年, 奥村泰彦: 口腔内 X 線写真の最適化, 日本歯科放射線学会第 53 回学術大会(岩手), 2012.6
- 4) 小澤智宣, 大高祐聖, 瀬寄雄介, 井上信行, 奥村泰彦: タブレット PC を使用した学生エックス線フィルムトレース実習の評価, 日本歯科放射線学会第 53 回学術大会(岩手), 2012.6
- 5) 大高祐聖: 超音波診断装置における嚢胞様病変のコントラスト評価, 明海歯科医学会第 17 回学術大会(埼玉), 2012.6
- 6) 井澤真希: 口腔内 X 線写真の最適化に関する研究, 明海歯科医学会第 17 回学術大会(埼玉), 2012.6
- 7) 小泉伸秀: CCD センサの粒状性に関する研究, 明海歯科医学会第 17 回学術大会(埼玉), 2012.6
- 8) 井澤真希, 原田康雄, 流石麻由, 小澤智宣, 高橋伸年, 奥村泰彦: デジタルパノラマ X 線画像の撮影条件, 日本歯科放射線学会第 215 回関東地方会, 第 32 回北日本地方会, 第 20 回合同地方会 (千葉), 2012.7
- 9) 大高祐聖, 小泉伸秀, 小澤智宣, 高橋伸年, 奥村泰彦: 超音波診断装置における嚢胞様病変のコントラスト評価, 日本口腔診断学会第 25 回総会・学術大会 (埼玉), 2012.9
- 10) 流石麻由: トモシンセシスによるデジタル回転パノラマ断層撮影法の応用, 明海歯科医学会第 18 回学術大会 (埼玉), 2012.10
- 11) 佐藤祐介: 2 次元超解像の画像再構成アルゴリズム開発, 明海歯科医学会第 19 回学術大会 (埼玉), 2012.12
- 12) 井澤真希, 原田康雄, 流石麻由, 小泉伸秀, 小澤智宣, 高橋伸年, 奥村泰彦: 歯科放射線学臨床実習生の被曝管理, 日本歯科放射線学会第 216 回関東地方会 (埼玉), 2013.1
- 13) 井澤真希, 原田康雄, 瀬崎雄介, 流石麻由, 小澤智宣, 井上信行, 奥村泰彦: Rando phantom と TLD によるパノラマ撮影の臓器線量, 日本歯科放射線学会第 216 回関東地方会(埼玉), 2013.1
- 14) 小泉伸秀, 鈴木 優, 井澤真希, 大高祐聖, 高橋伸年, 奥村泰彦: 2 次元超解像の画像再構成アルゴリズム開発, 日本歯科放射線学会第 216 回関東地方会 (埼玉), 2013.1
- 15) 小澤智宣, 木村直人, 井澤真希, 大高祐聖, 高橋伸年, 奥村泰彦: MDCT 装置の画像品

質管理, 日本歯科放射線学会第 216 回関東地方会 (埼玉), 2013.1

E.その他の研究会、講演等

- 1) 奥村泰彦, 高橋伸年, 大高祐聖, 鈴木 優, 瀬寄雄介, 井澤真希: 子ども大学にしているま「X 線ってなんだろう」「超音波でからだの中をのぞいてみよう!」, テレビさいたま ごとたま (埼玉), 2012.10
- 2) 金田 隆, 中山英二, 小豆島正典, 奥村泰彦, 代居 敬, 本田和也, 佐野 司, 清水谷公成, 浅海淳一, 森本康宏. 田口 明, 内藤宗孝, 有地榮一郎: 明日から使えるパノラマエックス線写真による画像診断, 日本歯科放射線学会歯科エックス線優良医第 17 回生涯学習研修会, 2012.10
- 3) 金田 隆, 中山英二, 小豆島正典, 奥村泰彦, 代居 敬, 本田和也, 佐野 司, 清水谷公成, 浅海淳一, 森本康宏, 田口 明, 内藤宗孝, 有地榮一郎: 第 22 回日本歯科医学会総会 (大阪), 2012.11

口腔顎顔面外科学分野 I

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Takashi YAMAZAKI, Masahiko KOBAYASHI, Kumi HIRANO, Hiroyuki ONUKI, Jun SHIMADA, Atsushi YAMAZAKI, YASUSHI HIBINO, Hiroshi NAKAJIMA, Y YOKOTE, S TAKEMOTO, Y ODA, Hiroshi SAKAGAMI : Protection against copper-induced cytotoxicity by inclusion of gold, *In Vivo*, 2012, 6 ; 26(4) : 651-6
- 2) Nozomi TAMURA, Kumi HIRANO, K HASHIMOTO, Osamu AMANO, Jun SHIMADA, Hiroshi SAKAGAMI : Analysis of type of cell death induced by topoisomerase inhibitor SN-38 in human oral squamous cell carcinoma cell lines, *Anticancer Res.* , 2012, 11 ; 32(11) : 4823-32
- 3) Toshiyuki NANBU, Jun SHIMADA, Masahiko KOBAYASHI, Kumi HIRANO, T KOH, Mamoru MACHINO, H OHNO, M YAMAMOTO, Hiroshi SAKAGAMI : Anti-UV activity of lignin-carbohydrate complex and related compounds, *In Vivo*, 2013, 1 ; 27(1) : 133-9
- 4) 鈴木 崇夫, 田村 暢章, 後藤 英之, 平野 久美, 別府 祐次, 武田 順天, 森 一将, 竹島 浩, 嶋田 淳 : インプラント撤去 25 症例の臨床的検討, *日本口腔診断学会雑誌* 25 巻 2 号 195-200, 2012.6
- 5) 小宅 宏史, 小貫 和之, 長尾 泰好, 吉川 秀明, 森 一将, 龍田 恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳, 長谷川 彰彦, 長坂 浩 : 亜酸化窒素セボフルラン全身麻酔下脳波解析に及ぼすペンタゾシン静脈内投与の影響について, *明海歯科医学* 41 巻 2 号 81-86, 2012.8
- 6) 小貫 和之, 小貫 典子, 長尾 泰好, 小宅 宏史, 吉川 秀明, 森 一将, 龍田 恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳, 長谷川 彰彦, 長坂 浩 : 亜酸化窒素セボフルラン全身麻酔下ペンタゾシン静脈内投与が BIS 値に及ぼす影響について, *明海歯科医学* 41 巻 ; 44-48, 2012.8
- 7) 荻野未来, 森 一将, 小貫裕之, 龍田恒康, 竹島 浩, 元田知子, 原口茂樹, 須藤 純, 田中敏史, 武田順天, 嶋田 淳 : 当科における過去 10 年間の下顎骨骨折の臨床的検討, *明海歯科医学* 42 ; 52-57, 2013.3
- 8) 峯岸 敏, 小貫裕之, 森 一将, 豊田博行, 青木竜平, 園川拓哉, 松本 聡, 後藤英之, 鈴木崇夫, 江口知子, 原口茂樹, 須藤 純, 田中敏史, 武田順天, 嶋田 淳 : 当科における過去 10 年間の全身麻酔手術症例の臨床的検討, *明海歯科医学* 42 ; 58-62, 2013.3

2. 総説

- 1) 嶋田 淳 : インプラント外科器具・器材の使い方 完全マスタープログラム第 7 回ソケットリフトの術式と器材②—オステオトームを用いないソケットリフト—, *Quintessence DENTAL Implantology* 19(3) 452-459, 2012.5
- 2) 嶋田 淳 : インプラント外科器具・器材の使い方 完全マスタープログラム 第 10 回 上

顎洞底拳上術（側方開窓術）の術式と器材③—上顎洞底拳上術粘膜剥離操作の難易度把握と器具の使用法, Quintessence DENTAL Implantology 19(6) 116-121, 2012.11

- 3) 森 一将, 嶋田 淳: 口腔癌に味方するマクロファージの解明, 日本歯科評論 No841 Vol72 9-11, 2012.11
- 4) 嶋田 淳: インプラント外科器具・器材の使い方 完全マスタープログラム 第10回 上顎洞底拳上術（側方開窓術）の術式と器材④—ピエゾを用いた開窓法—, Quintessence DENTAL Implantology 19(7) 124-130, 2013.1
- 5) 森 一将: "第1回口腔癌を見逃さないために", 埼歯だより No550 Spring, 2013.3

3. 症例報告

- 1) Kazumasa MORI, Nozomi TAMURA, Hiroyuki OHNUKI, Yuko NAKAMURA*, Jun SHIMADA : Papillary cystadenocarcinoma in the upper lip : Report of a case with immunohistochemical aspects, Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology in press, 2012.6
- 2) 田村暢章, 森 一将, 菊池建太郎, 別府祐次, 竹島 浩, 武田順天, 原口茂樹, 元田知子, 須藤 純, 田中敏史, 草間 薫, 嶋田 淳: 上顎洞内に進展した角化嚢胞性歯原性腫瘍の1例, 明海歯科医学誌 42(1),69-73, 2013, 2013.2

D. 学会発表

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) Jun SHIMADA : Safe and Less-invasive Implant and Oral and Maxillofacial Surgery, World Congress of Ultrasonic Piezoelectric Bone Surgery, Jeju, Korea, 2012.10
- 2) Jun SHIMADA : Reconsideration of sinus lift: complications and precautions, 16th Annual Scientific Meeting of WCOI Japan Division, Tokyo, Japan, 2013.2
- 3) 森 一将, 菊池建太郎, 小貫裕之, 田村暢章, 吉田亜矢, 並木一郎, 草間 薫, 嶋田 淳: 下顎骨に発生したエナメル上皮腫単嚢胞型 (ameloblastoma unicystic type) の長期観察, 第66回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 2012.5
- 4) 吉田亜矢, 森 一将, 小貫裕之, 鈴木崇夫, 峯岸 敏, 嶋田 淳: 顎関節症におけるキセノン光の効果, 第66回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 2012.5
- 5) 森 一将, 菊池建太郎, 田村 希, 鈴木崇夫, 草間 薫, 嶋田 淳: 口腔内病変により判明したアミロイドーシスを伴う多発性骨髄腫の1例, 第57回(社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 2012.10
- 6) 田村暢章, 森 一将, 菊池建太郎, 金川修一郎, 竹島 浩, 草間 薫, 嶋田 淳: 高齢者の

- 下顎骨に発生した *Ossifying fibroma* の 1 例, 第 66 回日本口腔科学会学術集会 (広島国際会議場: 広島県広島市), 2012.5
- 7) 田村暢章, 平野久美, 竹島 浩, 鈴木玲爾, 嶋田 淳: 卒前教育での口腔インプラント実習に関するアンケート調査, 第 42 回日本口腔インプラント学会・学術大会 (大阪国際会議場: 大阪府), 2012.9
 - 8) 田村暢章, 松山博康, 森 一将, 菊池建太郎, 谷口展子, 竹島 浩, 草間 薫, 嶋田 淳: 頬粘膜に発生した多形腺腫の 1 例, 第 57 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (パシフィコ横浜: 神奈川県), 2012.10
 - 9) 田草川 徹, 松山博康, 田島雅道, 坂上 宏, 嶋田 淳: *Zoledronate* の骨芽細胞障害作用に対する 1-34PTH 併用の影響, 第 57 回日本口腔外科学会学術総会, 横浜, 2012.10
 - 10) 田草川 徹, 松山博康, 園川拓哉, 田村暢章, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳: ONJ における血清 PTH の測定意義と骨芽細胞様細胞に対する 1-34PTH の影響について, 第 22 回日本有病者歯科医療学会総会, 東京, 2013.3
 - 11) 峯岸 敏, 小貫裕之, 松本 聡, 鈴木崇夫, 森 一将, 嶋田 淳: 当科における過去 10 年間の全身麻酔手術症例の臨牀的検討, 平成 24 年度 埼玉県歯科医学大会, 2013.3
 - 12) 荻野未来, 森 一将, 鈴木崇夫, 龍田恒康, 嶋田 淳: 高齢者に発症した上顎エナメル上皮腫の 1 例, 第 22 回日本有病者歯科医療学会学術大会, 2013.3
 - 13) 山田 遼, 森 一将, 小貫裕之, 嶋田 淳: 甲状腺機能亢進症が起因と考えられた口腔乾燥症の 1 例, 第 22 回日本有病者歯科医療学会学術大会, 2013.3
 - 14) 松山博康, 田草川 徹, 大原正太郎, 荻野未来, 田島雅道, 嶋田 淳: *Zoledronate* による顎骨壊死患者の血中 PTH 測定の意義について, 第 194 回 関東支部学術集会, 東京, 2012.12

E. その他の研究会、講演等

- 1) 嶋田 淳: 安全・安心なサイナスリフト治療を考察する, WCOI Japan 学術講演会, 東京, 2012.4
- 2) 嶋田 淳: 外傷による上顎前歯部欠損のインプラント治療時の注意点, 日本外傷歯学会第 2 回東日本地方学術大会, 東京, 2012.4
- 3) 嶋田 淳, 龍田恒康: スプリットクレストーライブオペー, Meikai University & Asahi University School of Dentistry, Continuing Dental Education, 千葉県, 浦安市, 2012.7
- 4) 嶋田 淳, 龍田恒康: ソケットリフトーライブオペー, Meikai University & Asahi University School of Dentistry, Continuing Dental Education, 千葉県, 浦安市, 2012.7
- 5) 嶋田 淳, 龍田恒康: サイナスグラフトーライブオペー, Meikai University & Asahi University School of Dentistry, Continuing Dental Education, 千葉県, 浦安市, 2012.10

- 6) 嶋田 淳, 龍田恒康:インプラント手術の合併症と対応, Meikai University & Asahi University School of Dentistry, Continuing Dental Education, 千葉県, 浦安市, 2012.11
- 7) 嶋田 淳:若き歯科医師のためのクリニカルベーシックセミナー 11.インプラント, Meikai University & Asahi University School of Dentistry, Continuing Dental Education, 千葉県, 浦安市, 2012.12
- 8) 竹島 浩: 歯科治療時における全身管理 (偶発症も含む), 平成 24 年度岡山県歯科医師会医療安全講習会, 2012.11
- 9) 竹島 浩:インプラント外科治療のベーシック, 平成 24 年度 WCOI JAPAN 学術講演会, 2013.2
- 10) 龍田恒康: 歯科治療と全身管理, 平成 24 年度 PDI 埼玉歯科診療所研修会, 埼玉県入間市, 2012.5
- 11) 龍田恒康:インプラント手術のための全身管理, 明海大学, 朝日大学歯学部生涯研修プログラム, 第 1 回 I C O I フェローシップ養成コース, 東京都新宿区, 2012.6
- 12) 龍田恒康: "歯科治療における合併症歯科治療時における全身管理 (術前・術中・術後の患者管理)", 平成 24 年度明海大学歯学部同窓会東北ブロック, 山形県山形市, 2012.11
- 13) 龍田恒康: 日常に有効なモニタリングについて, 平成 24 年度本庄児玉郡歯科医師会学術講演, 埼玉県本庄市, 2013.1
- 14) 龍田恒康:インプラント手術のための全身管理, 明海大学, 朝日大学歯学部生涯研修プログラム, 第 2 回 I C O I フェローシップ養成コース, 東京都新宿区, 2013.2
- 15) 龍田恒康: 口内炎, 東京新聞, 平成 25 年 3 月 19 日朝刊, 健康欄, 2013.3
- 16) 田村暢章:「臨床力向上のための学生教育実施に向けて、現行カリキュラム教育における教育内容 (教育方法) についての問題点とその改革方案」, 「臨床力向上のための学生教育実施に向けて、現行カリキュラム教育における教育内容 (教育方法) についての問題点とその改革方案」発表会 (明海大学坂戸キャンパス: 埼玉県), 2013.2

口腔顎顔面外科学分野Ⅱ

A. 著書・訳本

1. 著書

- 1) 坂下英明：口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-, クインテッセンス出版, 東京, 2012. 10
- 2) 福田正勝, 坂下英明：第3部 Oral Operative Edition14 骨隆起・外骨症（下顎隆起, 口蓋隆起）. In:口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-, クインテッセンス出版, 東京, pp164-169, 2012. 10
- 3) 福田正勝, 坂下英明:第3部 Postoperative Edition2 白板症～その症状と経過観察～. In:口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-, クインテッセンス出版, 東京, pp222-225, 2012. 10
- 4) 坂下英明：第3編 歯と口の病気・異常・障害 3章 顎・歯ならび・噛み合わせ. In 新版 家族のための歯と口の健康百科, 医歯薬出版株式会社, 東京, pp431-448, 2013. 3
- 5) 鈴木正二, 坂下英明：第2部 Basic Operative Edition4 奏功する局所麻酔. In:口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-, クインテッセンス出版, 東京, pp90-93, 2012. 10
- 6) 鈴木正二, 坂下英明：第2部 Basic Operative Edition5 チェアーサイドでの精神鎮静法. In:口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-クインテッセンス出版, 東京, pp94-97, 2012. 10
- 7) 鈴木正二, 坂下英明：第3部 Postoperative Edition6 術後の投薬. In:口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-, クインテッセンス出版, 東京, pp238-241, 2012. 10
- 8) 重松久夫, 坂下英明：第1部 Preoperative Edition1 口腔外科の治療は一般歯科と何が違うのか. In:口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-, クインテッセンス出版, 東京, pp18-23, 2012. 10
- 9) 重松久夫, 坂下英明：第1部 Preoperative Edition2 口腔解剖学はどこまで必要か. In:口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-, クインテッセンス出版, 東京, pp24-31, 2012. 10
- 10) 重松久夫, 坂下英明：第3部 Oral Operative Edition2 単純抜歯～正しい鉗子抜歯とヘーベルの持ち方, 使い方～. In:口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-, クインテッセンス出版, 東京, pp118-121, 2012. 10
- 11) 重松久夫, 坂下英明：第3部 Oral Operative Edition17 口腔内採骨と骨移植. In:口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-, クインテッセンス出版, 東京, pp194-197, 2012. 10

- 12) 奥結香, 坂下英明 : 第 2 部 Basic Operative Edition1 口腔外科に必要な器具/器材～これだけは揃えておこう～. In: 口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-, クインテッセンス出版, 東京, pp74-81, 2012. 10
- 13) 奥結香, 坂下英明 : 第 3 部 Oral Operative Edition11 顎嚢胞の手術の選択基準～鑑別診断のポイント～. In: 口腔外科治療失敗回避のためのポイント 47-口腔外科とは何か, どう治療するのか-, クインテッセンス出版, 東京, pp164-169, 2012. 10
- 14) 井上勝元, 坂下英明 : 2. 基礎疾患およびリスクを有する患者の管理と医療連携 喘息. In”医療連携” に役立つ 有病者歯科マニュアル, 医学情報社, 東京, pp30-31, 2013. 4

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Inoue H, Miyazaki Y, Kikuchi K, Yoshida N, Ide F, Ohmori Y, Tomomura A, Sakashita H, Kusama K : Podoplanin Expression during dysplasia-carcinoma sequence in the oral cavity, Tumor Biol, 33, 184-194, 2012. 2
- 2) 横塚裕二, 重松久夫, 川本幸寛, 大山嘉人, 瀧澤将太, 真野樹子, 時岡一幸, 鈴木正二, 須田直人, 坂下英明 : 当科における器質性構音障害を呈した先天性疾患の臨床調査, Pediatric Oral and Maxillofacial Surgery, 22, 37-44, 2012. 6

2. 総説

- 1) Fukuda M, Kusama K, Sakashita H : Molecular insights into the proliferation and progression mechanisms of the oral cancer: Strategies for the effective and personalized therapy, Japanese Dental Science Review, 48, 23-41, 2012. 2

3. 症例報告

- 1) 名倉 功, 宮田 勝, 高木純一郎, 坂下英明 : 竹片による外傷性咬筋内異物の 1 例, 日本口腔外傷学会誌, 10, 83-86, 2011. 12
- 2) 鈴木 円, 岡本英里, 大山嘉人, 川本幸寛, 柳下治男, 菅原良和, 田中章夫, 坂下英明 : Rhomboid-to-W Technique を応用した外歯瘻手術, Hospital Dentistry&Oral-Maxillofacial Surgery, 23, 63-66, 2011. 6
- 3) 岡田 藍, 真野樹子, 吉川正芳, 根岸亜矢子, 長谷川紘也, 重松久夫, 坂下英明, 須田直人 : 成長期に Rigid External Distraction (RED) System による上顎骨仮骨延長術を施行した口唇裂・口蓋裂の 3 症例, 明海歯学, 41, 134-146, 2013. 6

- 4) 井出文雄, 坂下英明, 草間 薫: 歯原性腫瘍および嚢胞の歴史的回顧-本邦における初期報告例の分析- 1. 腺性歯原性嚢胞, 小児口腔外科学会誌, 22, 113-119, 2012. 12
- 5) 菅原良和, 福田正勝, 坂下英明: 口腔扁平上皮癌における p53 依存性 IL-23 の発現, 小児口腔外科学会誌, 22, 131-139, 2012. 12
- 6) 堀 智一, 鈴木正二, 柳下治男, 新井麻貴, 瀧澤将太, 細川恵一, 川本幸寛, 大山嘉人, 坂下英明: 下顎智歯抜去をおこなった先天性無痛無汗症の 1 例, 小児口腔外科学会誌, 22, 174-177, 2012. 12
- 7) 高橋昌司, 荻原 孝, 沖殿ちひろ, 片海智子, 黒下礼奈, 落合慶行, 渡辺幸嗣, 鈴木正二, 渡部 茂: 抗凝固療法中の先天性心疾患児における全身麻酔下での歯科治療経験, 小児口腔外科学会誌, 22, 168-173, 2012. 12
- 8) Oyama Y, Shigematsu H, Kawamoto Y, Takizawa S, Kikuchi K, Kusama K, Sakashita H: A case of deep lobe parotid lipoma, Journal Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 24, 132-135, 2012. 5
- 9) 川本幸寛, 重松久夫, 岡本英里, 奥 結香, 鈴木正二, 坂下英明: 顎下隙に迷入した歯根を内視鏡下で口内法により摘出した 1 例, Hospital Dentistry&Oral-Maxillofacial Surgery, 23, 191-196, 2011. 12
- 10) Odaka K, Shigematsu H, Oku Y, Yagishita H, Sugawara Y, Kikuchi K, Kusama K, Sakashita H: Oral Lymphoithelial Cyst -A Case Report and Review of Previous Japanese Cases-, Hospital Dentistry&Oral-Maxillofacial Surgery, 23, 109-113, 2011. 12
- 11) Kikuchi K, Inoue H, Miyazaki, Matsuki E, Shigematsu H, Okamoto S, Sakashita H, Kusama K: Adult Sporadic B-cell Lymphoma of the Oral Cavity: A Case Report and Literature Review, Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, 70, 2936-2943, 2012. 12
- 12) Shigematsu H, Hoshino M, Oku Y, Kikuchi K, Kusama K, Sakashita H: A case of styloid process syndrome with complete bilateral ossification of the stylohyoid ligament, Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 25, 143-146, 2013. 4
- 13) Oyama Y, Shigematsu H, Takemae N, Okamoto E, Kikuchi K, Kusama K, Sakashita H: Bilateral synchronous Warthin's tumors of the parotid gland: A case report, Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 25, 147-150, 2013. 4
- 14) Oku Y, Shigematsu H, Hoshino M, Suzuki S, Kiyokawa T, Kikuchi K, Kusama K, Sakashita H: A Case Report on Lingual Osseous Choristoma in a Child, Pediatric Oral and Maxillofacial Surgery, 21, 159-162, 2011. 12

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 高木純一郎, 宮田 勝, 名倉 功, 車谷 宏, 坂下英明: 下顎骨に生じた脂肪腫の 1 例, 第 57 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 神奈川, 2012. 10
- 2) 川本幸寛, 大山嘉人, 瀧澤将太, 横塚祐二, 篠原優紀, 福田正勝, 千葉忠成, 坂下英明: MALT1 による口腔癌細胞の変動タンパク質と増殖能について, 第 57 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 神奈川, 2012. 10
- 3) 坂下英明, 重松久夫: 口唇・口蓋裂に対する歯科的要素を配慮した一貫治療, 第 22 回日本歯科医学会総会, 大阪, 2012. 11
- 4) 高木純一郎, 宮田 勝, 名倉 功, 坂下英明: 重篤な血小板減少を認めた頬粘膜癌の 1 例, 第 22 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 東京, 2013. 3
- 5) 新井麻貴, 鈴木正二, 篠原優紀, 堀 智一, 重松久夫, 奥 結香, 渡部 茂, 須田直人, 坂下英明: 明海大学病院歯科口腔外科第 2 科における小児入院患者の臨床統計的検討, 第 24 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 名古屋, 2012. 11
- 6) 新井麻貴, 鈴木正二, 堀 智一, 奥 結香, 重松久夫, 星野 都, 本河生実, 長谷川彰彦, 坂下英明: 血管迷走神経反射の 1 例, 第 22 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 東京, 2013. 3
- 7) 重松久夫, 瀧澤将太, 大山嘉人, 川本幸寛, 井上勝元, 奥 結香, 福田正勝, 鈴木正二, 馬越誠之, 岡田宗久, 鈴木 円, 宮田 勝, 菊池健太郎, 草間 薫, 坂下英明: 耳下腺部 space-occupying lesion に関する臨床的検討, 第 57 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 神奈川, 2012. 10
- 8) 清川年彦, 重松久夫, 奥 結香, 星野 都, 堀 智一, 菊池健太郎, 草間 薫, 坂下英明: 舌縁部に生じた疣贅型黄色腫の 1 例, 第 25 回日本口腔診断学会・第 22 回日本口腔内科学会, 合同学術大会, 東京, 2012. 9
- 9) 奥 結香, 重松久夫, 馬越誠之, 大山嘉人, 川本幸寛, 瀧澤将太, 本河生実, 篠原優紀, 井上勝元, 福田正勝, 鈴木正二, 坂下英明: 術後性上顎嚢胞に対する内視鏡による 2 方向支援下での上顎洞手術, 第 57 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 神奈川, 2012. 10
- 10) 星野都, 竹前希, 奥結香, 重松久夫, 坂下英明: 急性化膿性顎関節炎 1 例, 第 193 回日本口腔外科学会関東地方会, 埼玉, 2012. 6
- 11) 井上勝元, 篠原優紀, 大山嘉人, 川本幸寛, 瀧澤将太, 奥 結香, 重松久夫, 天野 修, 菊池健太郎, 草間 薫, 鈴木正二, 坂下英明: 当科において過去 42 年間で診断した口腔顎顔面領域の悪性腫瘍 574 例の検討, 第 25 回日本口腔診断学会・第 22 回日本口腔内科学会, 合同学術大会, 東京, 2012. 9

- 12) 福田正勝, 井上勝元, 奥 結香, 瀧澤将太, 大山嘉人, 川本幸寛, 鈴木正二, 坂下英明: 口腔扁平上皮癌におけるアデノウイルス受容体 (CAR; CXADR) の発現について, 第 57 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 神奈川, 2012. 10

E. その他, 研究会, 講演など

- 1) 坂下英明: 第一回埼玉地区セミナー-医・看・歯連携-, 日本口腔看護研究会, 埼玉, 2012. 10
- 2) 坂下英明: 第一回埼玉地区セミナー-医・看・歯連携-, 日本口腔看護研究会, 埼玉, 2012. 12

口腔衛生学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 野村圭介, 深井智子, 松本 勝, 流石知佳, 上田知恵, 仲筋宣子, 北 邦宏, 安井利一 : 生活習慣改善に重点をおいた女子高校生への「歯周病予防教育事業」の成果, 明海歯科医学会 42(1)26-32, 2013. 2

C. その他の刊行物

- 1) 松本 勝, 安井利一 : スポーツの「名医」. 朝日新聞出版 64, 2012年 7月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Takahashi A, Shimizu Y and Yasui T : A Study on Outline Detection Method for Measuring Laryngeal Movement, 21st International Congress for Disability and Oral Health(2012年 10月, Melbourne, Australia), 2012. 10

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 竹下 玲, 広瀬公治, 高野安紀子, 岡本和彦, 松本 勝, 柴田えり子, 流石知佳, 上田知恵, 仲筋宣子, 下島孝裕, 大川周治, 安井利一 : *Porphyromonas gingivalis* 線毛による単球前駆細胞様 M1 細胞のアポトーシスの阻害作用に関する情報伝達機構の解析, 第 61 回日本口腔衛生学会・総会, 横須賀市, 2012年 5月
- 2) 広瀬公治, 大橋明石, 竹下 玲, 車田文雄, 安井利一 : ニコチンが修飾する歯肉上皮細胞からの炎症性サイトカインの誘導, 第 61 回日本口腔衛生学会・総会, 横須賀市, 2012. 5
- 3) 深井智子, 高橋明子, 杉陽子, 末續真弓, 清水良昭, 安井利一 : 「セルフチェック顎関節評価表」を継続使用した顎関節の状況, 第 61 回日本口腔衛生学会・総会, 横須賀市, 2012年 5月
- 4) 遠藤浩正, 深井穂博, 三木昭代, 島田 篤, 申 基喆, 深井智子, 竹下 玲, 安井利一 : 埼玉県医科歯科連携推進会議を立ち上げて～2年間の取り組み～, 第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会, 那覇市, 2012年 7月
- 5) 宮澤 慶, 杉山義祥, 深井智子, 高橋明子, 松本 勝, 安井利一 : 歯科衛生士学校におけるスポーツ歯学の講義に関する調査, 第 23 回日本スポーツ歯科医学会, 長野市, 2012年 7月

- 6) 竹下玲, 末續真弓, 広瀬公治, 安井利一: マウス骨髄細胞 M1 細胞のアポトーシスを *Porphyromonas gingivalis* 線毛は阻害する, 第 54 回歯科基礎医学会・総会, 郡山市, 2012 年 7 月
- 7) 高橋明子, 清水良昭, 安井利一: 頸部輪郭抽出法による喉頭運動の検出, 第 17 回・第 18 回共催日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 札幌市, 2012 年 9 月
- 8) 流石知佳, 松本勝, 安井利一: 療養型病床群における入院患者の歯の状態について, 第 22 回日本老年歯科医学会, 東京都 (新宿区), 2012 年 9 月
- 9) 神亜未子, 清水良昭, 安井利一, 増野光彦, 三谷良昭: 市民ボランティア「元気にし隊」と坂戸市の歯の健康づくりーさかど健口体操の制作ー, 第 71 回日本公衆衛生学会, 山口市, 2012 年 10 月
- 10) 深井智子, 末續真弓, 竹下 玲, 流石知佳, 安井利一: 「セルフチェック顎関節評価表」の継続実施による顎関節症状と VAS との関連, 第 59 回日本学校保健学会, 神戸市, 2012 年 10 月
- 11) 岩崎和子, 安井利一, 三木とみ子, 森岡郁晴, 深井智子, 大沼久美子: 歯周疾患要観察者に対する知的レベルに応じた養護教諭による個別指導の実践とその効果, 第 59 回日本学校保健学会, 神戸市, 2012 年 11 月

E. その他の研究会, 講演等

- 1) 末續真弓: 「歯科健診でむし歯があると言われたときは・・・。», 比企群 (ときがわ町保健センター, よい歯の教室 1), 2012 年 7 月
- 2) 流石知佳: 療養型病床群入院患者への口腔保健評価手法に関する研究, 第 19 回明海歯科医学会, 坂戸市, 2012 年 12 月
- 3) 竹下 玲: 知っておきたい! 歯周病が関わるからだの病気, 石神井保健相談所講演会, 東京都 (練馬区), 2013 年 2 月
- 4) 竹下 玲: 健康は歯のケアから, 坂戸市健康づくり寺小屋事業, 坂戸市 (中富町集会所), 2013 年 2 月
- 5) 末續真弓: 「むしばになりやすいおやつ・なりにくいおやつ」, 比企群 (ときがわ町保健センター, よい歯の教室 2), 2013 年 3 月
- 6) 末續真弓: 「いつまでもおいしく食べるために～お口から考える健康なからだづくり～」, 食推進リーダー研修会, 熊谷保健所, 2013 年 3 月

F. 研究助成金等の受け入れ

(1) 文部科学省科学研究費補助金

- 1) 竹下 玲(研究代表者), 安井利一(分担者), 岡本和彦(分担者), 高野安紀子(分担者):
歯周病原性細菌の細胞内侵入に及ぼす口腔内連鎖球菌の影響, 日本学術振興会(文部科学省科学)研究費補助金 基盤研究(C), 2012年度
- 2) 岡本和彦(研究代表者), 安井利一(分担者), 竹下 玲(分担者), 高野安紀子(分担者), 藤沢政紀(分担者), 歯根膜細胞が産生する単球走化性因子 MCP-1 の歯科補綴学における臨床的意義, 日本学術振興会(文部科学省科学)研究費補助金 基盤研究(C), 2012年度
- 3) 安井利一(研究代表者), 竹下 玲(分担者), 岡本和彦(分担者), 高野安紀子(分担者), 細胞内に侵入した歯周病原性細菌の病態形成機構とその侵入細菌の除去薬剤の検索, 日本学術振興会(文部科学省科学)研究費補助金 基盤研究(C), 2012年度

(3) 宮田研究奨励金(A) および(E)

- 1) 深井智子: 宮田研究奨励金(A), 特別支援学校の歯周疾患・歯周疾患要観察者への個別指導が障害児の自立支援に及ぼす影響. 2012年度

医療情報科学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 宮崎裕司, 菊池建太郎, 井上ハルミ, 藤波正裕, 山内雅司, 草間 薫: 口腔の発癌・癌進展における遺伝子編集酵素 AID および炎症性サイトカインの関与 消化器と免疫, No. 49 89-91, 2012, 2013. 3

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 宮崎裕司, 菊池建太郎, 井上ハルミ, 藤波正裕, 山内雅司, 草間 薫: 口腔の発癌・癌進展における遺伝子編集酵素 AID および炎症性サイトカインの関与, 第 49 回日本消化器免疫学会総会 (鹿児島), 2012. 7
- 2) 石原真理子, 山内雅司: ヒト口腔癌細胞に傷害活性を有する新規イソキノリン誘導体類のデザイン, 第 54 回歯科基礎医学会学術大会 郡山, 2012. 9

スポーツ歯学分野

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) 松本 勝：新版家族のための 歯と口の健康百科，伊藤公一，小野芳明，齊藤 力，鈴木 尚，高橋英登，宮地建夫，向井美恵，安井利一 編集，医歯薬出版，東京，28 - 30，43-46，220，415 - 419，2013年3月

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 野村圭介，深井智子，松本 勝，流石知佳，上田知恵，仲筋宣子，北 邦宏，安井利一：生活習慣改善に重点をおいた女子高校生への「歯周病予防教育事業」の成果．明海歯科医学 vol. 42(1)，26-32，2013年2月

C. その他の刊行物

- 1) 松本 勝，安井利一：スポーツの「名医」．朝日新聞出版 64，2012年7月

D. 学会発表

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 宮澤 慶，杉山義祥，深井智子，高橋明子，松本 勝，安井利一：歯科衛生士学校におけるスポーツ歯学の講義に関する調査．第23回日本スポーツ歯科医学会学術大会，長野市，2012年7月
- 2) 竹下 玲，広瀬公治，高野安紀子，岡本和彦，松本 勝，柴田えり子，流石知佳，上田知恵，仲筋宣子，下島孝裕，大川周治，安井利一：*Porphyromonas gingivalis*線毛による単球前駆細胞様 M1 細胞のアポトーシスの阻害作用に関する情報伝達機構の解析．第61回日本口腔衛生学会・総会，横須賀市，2012年5月

E. その他の研究会、講演等

- 1) 松本 勝，安井利一：児童虐待防止の歯科医療保健連携，予防を通じた資質向上及び広報啓発（和歌山県地域子育て創生事業）．和歌山県歯科医師会，2012年6月
- 2) 松本 勝：スポーツ歯科医学総論．埼玉県歯科医師会スポーツ歯学講習会（彩の国すこ

やかプラザ), 2012年11月

- 3) 松本 勝: マルチレイヤーマウスガード製作デモ. 埼玉県歯科医師会スポーツ歯学講習会 (明海大学), 2013年3月

障害者歯科学分野

A. 著書及び訳本

1. 著書

- 1) 藤野昭宏, 前田義郎, 宮坂道夫, 服部健司, 志村俊郎, 大谷いづみ, 後藤英司, 野村英樹, 宮田靖志, 朝比奈真由美, 清水良昭, 松島哲久, 永田まなみ, 宮下榮子, 伴信太郎: 第8章 歯学教育における医療倫理—歯学教育モデル・コア・カリキュラムを中心に I n : シリーズ生命倫理学 19 医療倫理教育. シリーズ生命倫理学編集委員会編, 丸善出版, 東京, 157-179, 2012年7月
- 2) 朝倉輝一, 浅見昇吾, 飯塚美子, 石田安美, 一戸真子, 伊藤幸郎, 清水良昭, 大井賢一, 尾崎恭一他 45名, Q5-6 患者の保存血液等を本人の同意なしに研究利用してよいか I n : 医療倫理 Q&A. 関東医学哲学・倫理学会編, 太陽出版, 東京, 118-119, 2013年3月

D. 学会発表

1. 国際学会

(3)一般演題

- 1) Takahashi A, Shimizu Y, Yasui T : A study on outline detection method for measuring laryngeal movement. 21st International Congress for Disability and Oral Health, Melbourne, Australia, October, 2012

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) 高橋明子, 清水良昭, 安井利一: 頸部輪郭抽出法による喉頭運動の検出. 第17回・第18回共催日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 札幌市, 2012年8月
- 2) 神亜未子, 清水良昭, 安井利一, 増野光彦, 三谷良昭: 市民ボランティア「元気にし隊」と坂戸市の歯の健康づくり—さかど健口体操の制作—. 第71回日本公衆衛生学会, 山口市, 2012年10月

E. その他、研究会、講演等

- 1) 清水良昭: 障害者の歯科治療. PDI 埼玉歯科診療所, 2012年11月

内科学分野

B. 学術論文

1. 原著

- 1) 小貫典子, 小貫和之, 長尾泰好, 長坂浩, 長谷川彰彦, 嶋田淳: 亜酸化窒素-セボフルラン麻酔下ペンタゾシン静脈内投与前後のBIS値に及ぼす性差の影響, 臨床麻酔, 36, 1011-1015, 2012.7
- 2) 小宅宏史, 小貫和之, 長尾泰好, 吉川秀明, 森一将, 龍田恒康, 竹島浩, 嶋田淳, 長谷川彰彦, 長坂浩: 亜酸化窒素セボフルラン全身麻酔下脳波解析に及ぼすペンタゾシン静脈内投与の影響について, 明海歯科医学, 41, 81-86, 2012.9

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 難波智美, 大塚秀春, 長谷川彰彦, 申基喆: 2型糖尿病を伴った慢性歯周炎患者に対して歯周治療を行った一症例, 日本歯周病学会 2012 秋季学術大会 (第 55 回), つくば, 2012.9
- 2) 新井麻貴, 鈴木正二, 堀智一, 奥結香, 重松久夫, 星野都, 本河生実, 長谷川彰彦, 坂下英明: 血管迷走神経反射の 1 例 第 22 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 東京, 2013.3

MPL

A. 著書および訳本

1. 著書

- 1) Sakagami H and Matsuta T : Biological activity of cacao husk and mass lignin carbohydrate complexes. In: Chocolate in Health and Nutrition (ed: Watson RR, Preedy VR and Zibadi A, Springer) pp247-262, ISBN 978-1-61779-802-3, 2012.9
- 2) 友村明人, 友村美根子 : 骨代謝とポリフェノール (第 5 章) In : ポリフェノールの構造と機能性) 波多野 力 監修, シーエムシー出版, 東京, pp87-97, 2012.10
- 3) 坂上 宏 : リグニン配糖体の構造と機能性, 書籍『ポリフェノール : 薬用植物および食品の機能性成分』(監修 : 波多野力)、pp100-116、ISBN978-4-7813-0672-8、シーエムシー出版, 2012.10
- 4) Sakagami H, Matsuta T, Yasui T, Oguchi K, Kitajima M, Sugiura T, Oizumi T and Oizumi T : Functional evaluation of Sasa Makino et Shibata leaf extract as group III OTC drug, In: Alternative Medicine (ed. Sakagami H), pp171-200, InTech ISBN 980-953-307-811-8, 2012.12

B. 学術論文

1. 原著

- 1) Sakagami H, Matsuta T, Satoh K, Ohtsuki S, Shimada C, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Morita Y, Ohkubo A, Tsuda T, Sunaga K, Maki J, Sugiura T, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Biological activity of SE-10, a granulated powder of *Sasa senanensis* Rehder leaf extract, In Vivo 26: 411-418, 2012.4
- 2) Takano T, Tomomura M, Yoshioka N, Tsutsumi K, Terasawa Y, Saito T, Kawano H, Kamiguchi H, Fukuda M and Hisanaga S : LMTK1/AATYK1 is a novel regulator of axonal outgrowth that acts via Rab11 in a Cdk5-dependent manner, J Neurosci 32 (19) : 6587-6599, 2012.5
- 3) Tomomura M, Hasegawa H, Suda N, Sakagami H and Tomomura A. : Serum calcium- decreasing factor, caldecrin, inhibits receptor activator NF κ B ligand- mediated Ca²⁺ signaling and actin ring formation in mature osteoclasts via suppression of Src signaling pathway, J Biol Chem 287: 17963-17974, 2012.5
- 4) Zhou T, Ohkoshi E, Shi Q, Bastow KF and Lee KH : Anti-AIDS agents 89. Identification of DCX derivatives as anti-HIV and chemosensitizing dual function agents to overcome P-gp-mediated drug resistance for AIDS therapy, Bioorg Med Chem Lett 22: 3219-3222, 2012.5

- 5) Hung HY, Ohkoshi E, Goto M, Bastow KF, Nakagawa-Goto K and Lee KH : Antitumor agents 293. non-toxic dimethyl-4, 4' -dimethoxy-5, 6, 5' , 6' -dimethylenedioxybiphenyl-2, 2' -dicarboxylate (DDB) analogues chemosensitize multidrug resistant cancer cells to clinical anticancer drugs. J Med Chem 55: 5413-5424, 2012. 6
- 6) Matsuta T, Sakagami H, Tanaka S, Machino M, Tomomura M, Tomomura A, Yasui T, Itoh K, Sugiura T, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Pilot clinical study of *Sasa senanensis* Rehder leaf extract treatment on lichenoid dysplasia, In Vivo 26 (6) : 957-962, 2012. 11
- 7) Suzuki R, Tanaka T, Yamamoto M, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A, Satoh K and Shirataki Y : In search of new biological activities of isolates from *odontoglossum harvengtense* 'Tutu' , In Vivo 26(6) : 993-999, 2012. 11
- 8) Hung HY, Ohkoshi E, Goto M, Nakagawa-Goto K and Lee KH : 1-(3, 4, 5-Trimethoxyphenyl) ethane-1, 2-diyl esters, a novel class of compound with potent chemoreversal activity. Bioorg Med Chem Lett 22: 7726-7729, 2012. 12
- 9) Matsuta T, Sakagami H, Sugiura T, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Structural characterization of anti-UV components from *Sasa senanensis* Rehder extract, In Vivo 27: 77-84, 2013. 1
- 10) Horii H, Suzuki R, Sakagami H, Tomomura M, Tomomura A and Shirataki Y : New biological activities of rhinacanthins from the root of *Rhinacanthus nasutus*, Anticancer Res 33(2) : 453-459, 2013. 2
- 11) Sakagami H, Amano S, Yasui T, Satoh K, Shioda S, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Watanabe K, Sugiura T, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T : Biological interaction between *Sasa senanensis* Rehder leaf extract and toothpaste ingredients, In Vivo 27: 275-284, 2013. 3

C. その他の刊行物

- 1) 坂上 宏, 松田友彦, 田中庄二, 町野 守, 安井利一, 伊藤一芳, 北嶋まどか, 杉浦智子, 大泉浩史, 大泉高明 : クマ笹葉エキス由来製品の開発, 機能性評価及び口腔疾患への適応, New Food Industry: 54: (6): 11-26, 2012, 2012. 6

D. 学会発表

1. 国際学会

(3) 一般演題

- 1) Sakagami H, Matsuta T, Tanaka S, Machino M, Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T :

Applicaton of *Sasa senanensis* Rehder leaf extract on oral diseases, 90th General Session and Exhibition of the IADR, Iguacu Falls, Brazil, 2012. 6

- 2) Tomomura A, Hasegawa H, Suda N, Sakagami H and Tomomura M : Serum Calcium- decreasing Factor, Caldecrin, Inhibits RANKL-mediated Ca²⁺ Signaling and Actin Ring Formation in Mature Osteoclasts via Suppression of the Src Signaling Pathway, 34th Annual Meeting The American Society for Bone and Mineral Research, Minneapolis, USA, 2012. 10

2. 全国学会

(3)一般演題

- 1) Obata M, Takano T, Tomomura M, Saito T, Fukuda M and Hisanaga S : The role of the kinase activity of LMTK1 in the recycling endosome pathway, 第 64 回 日本細胞生物学会大会, 神戸, 2012. 5
- 2) 坂上宏, 松田友彦, 友村美根子, 友村明人, 田中庄二, 町野守, 安井利一, 北嶋まどか, 大泉浩史, 大泉高明 : クマ笹抽出液 (ササヘルス) の口腔疾患治療効果の可能性, 第 5 4 回 歯科基礎学会, 郡山, 2012. 9
- 3) 山本未來, 田中智大, 鈴木龍一郎, 坂上宏, 友村美根子, 友村明人, 白瀧義明 : ラン科植物 *Odontoglossum Harvengtense* ‘Tutu’ バルブ含有成分の生理活性について, 第 59 回 日本生薬学会, 千葉, 2012. 9
- 4) 二瓶春菜, 鈴木里奈, 鈴木龍一郎, 白瀧義明, 友村美根子, 友村明人, 坂上宏 : 白鶴靈芝 *Rhinacanthus nasutus* の破骨細胞の分化抑制について, 第 59 回 日本生薬学会, 千葉, 2012. 9
- 5) 長谷川紘也, 友村美根子, 友村明人, 須田直人 : 成熟破骨細胞に対する血清カルシウム降下因子カルデクリンの影響, 第 71 回 日本矯正歯科学会, 盛岡, 2012. 9
- 6) 松田友彦, 坂上宏, 北島まどか, 大泉浩史, 大泉高明 : クマ笹抽出液 (ササヘルス, SE) の紫外線防御および抗酸化成分の構造解析, 第 54 回歯科基礎医学会, 福島, 2012. 9
- 7) Takano T, Ogura T, Saito T, Asada A, Fukuda M, Tomomura M, and Hisanaga S : LMTK1/AATYK1 Negatively Regulates Dendritic Arborization of Cortical Neurons via Rab11 and GSK3 β , 第 35 回日本分子生物学会, 福岡, 2012. 12
- 8) 友村明人, 長谷川紘也, 須田直人, 坂上宏, 友村美根子 : Serum calcium-decreasing factor, caldecrin, inhibits bone resorption of mature osteoclasts via inhibition of RANKL-mediated TRAF6/Src signal transduction, 第 85 回日本生化学会大会 (福岡), 2012. 12
- 9) 友村美根子, 鈴木龍一郎, 鈴木里奈, 二瓶春菜, 白瀧義明, 坂上宏, 友村明人 : In vitro

での破骨細胞分化における rhinacanthin C の抑制効果, 第 85 回日本生化学会大会 (福岡), 2012. 12

F. 研究助成金等の受け入れ

1. 文部科学研究費補助金

- 1) 波多野力 (代表)、坂上宏 (分担) : 機能性食品中の腫瘍細胞への作用物質としてのポリフェノールの研究、基盤研究 C, 2012
- 2) 友村明人 (代表)、友村美根子 (分担) : 破骨細胞の RANKL のシグナルプラットフォーム形成におけるカルデクリンの抑制効果、基盤研究 C, 2012